

FavorPrep™ Genomic DNA Clean Up Mini Kit

Cat. No. : FADC1020 (4 回分) / FADC1023 (50 回分) / FADC1025 (200 回分)

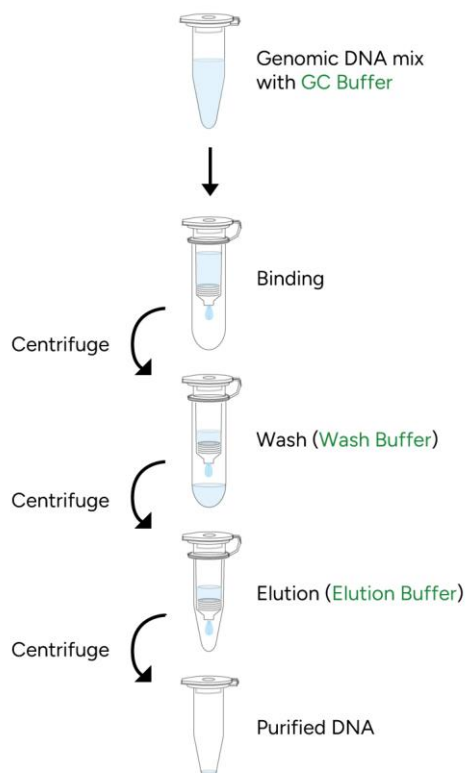
本製品は研究用です v 202505

● キットの内容

	FADC1020 (FAGDC 000)	FADC1023 (FAGDC 001)	FADC1025 (FAGDC 001-1)
	(4 preps)	(50 preps)	(200 preps)
GC Buffer	1.5 ml × 2	30 ml	120 ml
Wash Buffer (Concentrate)*	1 ml	10 ml	40 ml
Elution Buffer	1.5 ml	15 ml	50 ml
GC Columns	4 pcs	50 pcs	200 pcs
Collection Tubes	4 pcs	50 pcs	200 pcs
Elution Tubes	4 pcs	50 pcs	200 pcs
*添加する 96~100%エタノール量			
Wash Buffer	4 ml	40 ml	160 ml

● 基本情報

構成	シリカメンブレン法 (ミニスピニングカラム)
結合量	≤60 μg/column
サンプル量	最大 100 μl (最大 60 μg のゲノム DNA を含む)
回収率	80~95%
溶出量	50~200 μl
操作時間	15 分



● 重要事項

1. 本製品を使用する際は、白衣とゴム手袋を着用してください。
2. Wash Buffer は使用前にエタノール(96~100%)を加えてください。
3. ステップ 9 で使用する Elution Buffer は 65°C に加熱してください。
4. すべての遠心分離は、最大速度(14,000 rpm または 10,000 × g)で行ってください。

● 操作 ※操作前に「重要事項」をよくお読みください。

1. 100 μ l のゲノム DNA (最大 60 μ g のゲノム DNA を含む)を遠心チューブ(非付属品)に移し、500 μ l の GC Buffer を加えます。ボルテックスで十分に混和します。
メモ) サンプル量が 100 μ l に満たない場合、ddH₂O を加えて 100 μ l に調製してください。
2. GC Column を Collection Tube に取り付け、混合液を移します。
3. 1 分間遠心分離します。
4. ろ液を捨て、GC Column を Collection Tube に戻します。
5. 750 μ l の Wash Buffer (エタノール添加)を加え、1 分間遠心分離します。
メモ) Wash Buffer にエタノール(96~100%)が加えられていることを確認してください。
6. ろ液を捨て、GC Column を Collection Tube に戻します。
7. 3 分間遠心分離し、GC Column を乾燥させます。
重要! この操作により、残留液がその後の酵素処理を阻害することを防ぎます。
8. GC Column を Elution Tube (付属品)に取り付けます。
9. 50~200 μ l の予熱した Elution Buffer または ddH₂O (pH 7.0~8.5) を GC Column のメンブレンの中央に加え、2 分間静置します。
重要! 効率よく溶出させるため、RNase-Free Water を完全に吸着させてください。
10. 1 分間遠心分離し、DNA を溶出します。

●トラブルシューティング

トラブル	考えられる原因	解決方法
ゲノム DNA の回収率が悪い、または回収できない	100 μ l 以上のゲノム DNA を使用している	サンプル量が 100 μ l 以上の場合は、数回に分けてください
	効率的に溶出されていない	Elution Buffer もしくは ddH ₂ O の pH が 7.0~8.5 であるか確認してください
		Elution Buffer をメンブレンに完全に吸着させてください
		Elution Buffer もしくは ddH ₂ O は 65°C に予熱してください
アプリケーションの結果が悪い	塩が残留している	Wash Buffer で 2 度洗浄してください
	エタノールが残留している	Wash Buffer で洗浄後、ろ液を捨て、追加で 3 分間遠心分離してください